

**県立三木山森林公園の管理運営に関する評価〔平成29～令和2年度〕**  
**（県立三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会）**

**1 施設維持管理業務**

- ・清掃、設備保守管理については、管理水準を超える内容で実施している。
- ・平成29年度から令和2年度のアンケートによると、「屋内の清潔さ」について「たいへん満足」「やや満足」の平均が約98%、「屋外（トイレ）の清潔さ」について「たいへん満足」「やや満足」の平均が約92%であり、ほとんどの来園者から満足との評価を得ている。
- ・要修繕箇所への対応も適切で、施設の異常による事故は発生していない。
- ・令和元年度においては県立施設の老朽化対策事業の対象であったため計画修繕を行っている。

**2 運営業務**

- ・平成29年度から令和2年度のアンケートによると、「職員・スタッフの対応」について「たいへん満足」「やや満足」の平均が約98%であり、来園者への接遇について、ほとんどの来園者から満足との評価を得ている。
- ・イベント、環境体験学習等の実施回数は、三木山サポーターとの連携により、H29:111回（計画95回）、H30:90回（計画71回）、R1:83回（計画71回）、R2:39回（計画80回）と令和2年度はコロナ禍の影響を大きく受けているが、それ以外の年度については計画を上回る回数を実施した。「施設全体の満足度」に対する平成29～令和2年度のアンケート調査では「たいへん満足」「やや満足」の平均が約99%となっている。
- ・ただし、来園者に対し、森林公園の特徴である森林整備や生物多様性の保全等への取組を伝える方法には改善する余地がある。
- ・また、公園のホームページは、令和元年度からスマホ化を行い、より多くの人が閲覧しやすいようになっている。一方、項目で「みどころ情報」とはあるものの、トップページから一目で園内の見所がわかるとはいわずらく、初めて施設を訪問しようとする利用者には森林公園のよさが伝わりにくい。2回以上の来園者が約80%（令和2年度アンケート）を占めるリピーターの多い公園であり、顕在化していないとも考えられるが、初めての訪問者にもわかりやすい内容に改善する余地がある。

**3 利用状況**

- ・来園者は毎年60万人に近い数字で安定した入園者を確保している。R2年度に

については、コロナの影響を受け、大幅に落ち込んではいないものの50万人以上を維持している。

- ・来園者の分布は、県内各地からあるものの、三木市内約30%、隣接する神戸市西区約15%（令和2年度アンケート）と近隣からの来園者が約半数となっている。今後は単なる「近くて訪れやすい公園」ではなく、「森林公園としての魅力」を伝えるためにも来園者の立場に立ったわかりやすい情報発信を工夫する必要がある。
- ・また、三木山森林公園が取り組む森林整備や生物多様性保全などの情報発信を強化するなどし、近隣からの来園者はもちろん、広く県内外からの来園者を呼び込む努力も必要である。
- ・平成29年度から令和元年度（令和2年度はコロナの影響が大きいため除く）においては、有料施設のうち、リピーター利用の多いクラフト館の利用は約99%、森の文化館の主要施設である音楽ホールも約47%と、50%近い稼働率を確保しているが、茶室については、約18%と低い稼働率であり、利用率向上に向けた抜本的な取り組みが課題と考える。

※稼働率＝利用件数÷貸出可能件数（施設利用可能日数×3時間帯）×100

※茶室の利用率が低い理由について、①駐車場から施設までが遠く、高齢者が利用しにくい。②利用者はロコミからがほとんどであり、公園施設の中でも知名度が低い。ことが考えられる。

#### 4 収支状況

- ・平成29年から令和2年度において、利用料金が計画に達しなかった。（令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大、令和元年度は老朽化対策事業による一時貸館停止の期間があったことが影響していると考えられる。）
- ・今後は適正な計画設定、計画達成に向けた新たなサービスの向上や利用促進を図る観点から積極的な取組が求められる。

#### 5 運営体制

- ・予算の範囲内で15名（R2.H30）、16名（R1.H29）のスタッフを配置しており、支障なく運営している。
- ・危機管理マニュアルを整備し、消防訓練も年2回実施。
- ・森林整備、生物多様性の保全等の事業実施に求められる専門性を維持し、高めていくよう、不断の努力を求めたい。

## 6 総評

- ・来園者アンケートの評価は高いことは評価できる。60万人に近い来園者を維持させているものの、目標の60万人に達するための工夫や努力は必要である。
- ・今後は、三木山森林公園の特徴である森林整備、生物多様性の保全等への取り組みを強化し、またその普及啓発を促進するために、情報発信の方法を見直し、一層価値の高い公園に育て上げる運営を期待したい。

(参考)

兵庫県立三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会

氏名	役職	備考
服部 保	兵庫県立大学名誉教授	委員長
宇田 名保美	ADU株式会社代表取締役	
岩木 啓子	ライフデザイン研究所FLAP代表	
西 栄一	株式会社神戸新聞社地域総研副所長	
塩谷 嘉宏	農政環境部森林参事	